



令和7年度 北九州市立市丸小学校経営方針

<学校教育目標>

本校の教育課題
保護者・地域の願
い
時代や社会の要請

<自立する市丸の子どもの育成>
市丸の地域や保護者と連携し合い、元気な体を持ち、誰に対しても
思いやりがあり、自ら学び、自ら考え、表現していく子どもを育成する。

学習指導要領
北九州市教育大
綱
指導の重点 等

目指す学校像

- 子どもにとって、元気で希望に満ちた学校
- 子どもにとって、意欲的に学ぶことのできる学校
- 教職員にとって、互いに高め合える、働きたい学校
- 保護者や地域住民から信頼される学校

目指す子ども像

- 相手を思いやり、命を大切に
する子 **心はやさしく**
- しっかり食べて、進んで体を
動かす元気な子 **体はたくましく**
- 自分の考えを進んで表現し、考
えを深める子 **頭はかしこく**

目指す教職員像

- 一時間一時間の授業を大切
にし、力量を高める教職員
- 子どもと共に行動し、汗を
流し、温かい誉め言葉をかけ
る教職員
- 組織の一員として、同僚性
の自覚を持ち、共に創造し合
う教職員
- 保護者や地域との連携に努
める教職員



重点目標と具体的な方策 市丸小学校スクールプランの強力な推進と実現に向けた協働体制の確立

1 確かな学力・体力の向上

- 「一時間一時間の授業を大切にする」
- ① 「分かる授業」づくりの5つのポイントの徹底と質の向上。
 - ② タブレットを効果的に活用した主体的・対話的な深い学びの創造
 - ③ 朝の活動「市丸タイム」基礎基本の充実
 - ④ 「身近に本、気軽に本」を合言葉にした読書活動の推進
 - ⑤ 家庭と連携した学習習慣
 - ⑥ 栄養教諭との連携による「食に関する指導」の充実
 - ⑦ 朝の運動（大縄跳び、ボール運動）の実施

2 心の育ちの推進

- 「子どもとの信頼関係をつくる」
- ① あいさつの定着
 - ② 信頼に基づいたよりよい人間関係づくり
 - ③ 道徳教育の要となる道徳科を「考え・議論する道徳授業」となるように指導の充実
 - ④ 全教育活動で行う道徳教育を意識する。
 - ⑤ 「いいところみつけ」を位置づけ、互いを認め合う
 - ⑥ 委員会やクラブ活動、学校行事で自主性を育てる
 - ⑦ 学校行事の充実を図り、達成感や自己肯定感を高める
 - ⑧ 新版「いのち」や「北九州市子どもつながりプログラム」を活用し、確かな人権感覚を育む

3 保護者・地域等との連携

- 「保護者・地域から信頼される学校をつくる」
- ① 学校からの情報発信の充実
 - ② 保護者とのこまめな連絡
 - ③ PTA行事、地域行事への児童・職員の参加促進
 - ④ 学習参観、運動会等、公開教育活動の充実
 - ⑤ SDGsの視点を踏まえた地域の学習素材・施設・人材活用～ユネスコ推進指定校
 - ⑥ 校内環境の整備、子どもの学校生活がわかる掲示物の工夫
 - ⑦ 保幼小連携・小中一貫の推進
 - ⑧ 東谷校区学校運営協議会の実施

チーム市丸 ～目標達成のために大切にしていきたいこと～

◎危機管理体制・対応の徹底

- ・危機管理の「さしすせそ」（報・連・相・確認）
- ・自分が思う**一つ上の対応**
- ・通学路の確認、登下校時の安全
- ・子どもの出欠の確実な確認。
- ・子どもの外部からの問い合わせには応じない。（管理職と相談）

◎明るい風通しのよい職場

- ・きついこと、つらいことは、**一人で抱え込まないで、みんな**で共有する。
- ・健康第一。体調がよくない時は遠慮なく連絡を。
- ・**ワークライフバランス**
- ・定時退校日の確実な実施。

◎公務員としての自覚

- ・体罰の禁止、交通法規の遵守
- ・飲酒運転は絶対にしない。
- ・個人情報管理の徹底を。
- ・職場や子どものことをSNSにのせない。
- ・セクハラ、パワハラのないように自他共に気を付ける。